

ホストタウン一覧

2018年8月31日現在

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
北海道	釧路市	ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> 2010年に市内にベトナム名誉領事館が開設される。また、国内唯一の坑内掘炭鉱である市内企業がベトナムからの技術者受入れ等の交流を継続していることを活かし、オリンピックの前後を通して、スポーツを契機とした市民レベルの交流につなげる。 	・2017.7.7登録
	網走市	オーストラリア、韓国	<ul style="list-style-type: none"> 国内ラグビーチーム合宿地のメッカ。小学生のタグラグビーも盛ん。ラグビートップリーグのチームも合宿に訪れており、所属するオーストラリア選手・スタッフとの縁を活かし、同国の7人制ラグビー代表の事前誘致に取り組む。 オーストラリアのパラレーサー（車いす陸上）チームと交渉できる環境にあり、事前合宿の誘致を進める。 当市において、2008年から大韓陸上連盟と日本陸上連盟の合同合宿を実施していることを縁として、東京大会における韓国の陸上長距離代表の事前合宿実施について協定書を締結。 大韓陸上連盟や韓国関係者、日本人オリンピックの方々の協力を得て、陸上愛好者を対象とした陸上教室を開催するほか、親善を目的とした交流事業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.1.26登録 ・2018.8.31韓国追加
	士別市	台湾	<ul style="list-style-type: none"> 「合宿の里」を掲げており、夏季五輪や世界陸上などで実績がある。 ウェイトリフティングでは、事前合宿や市出身のオリンピックの存在など歴史と実績がある。また、強豪国の一つである台湾を事前合宿に誘致。 	・2016.1.26登録
	名寄市	台湾	<ul style="list-style-type: none"> 2015年には名寄日台親善協会を設立し関係強化を進めている。また、Sport for Tomorrowの事業として、台湾とスポーツ交流を行っており、こうした縁を活かし、台湾の事前合宿誘致を進める。 	・2016.1.26登録
	登別市	デンマーク	<ul style="list-style-type: none"> デンマークのファボー・ミッドフン市と友好都市協定を締結し、中学生の派遣事業や市民交流団の相互派遣など20年以上にわたり交流を継続。このつながりを活かし、競技終了後にデンマークのオリンピックを招いて交流会を実施するなど、国際理解の促進やホスピタリティの向上を図る。 	・2017.12.11登録
青森県	弘前市	台湾、ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> 日本代表監督をつとめた齋藤春香氏が、市の職員であることから、現役時代から交流のある台湾ソフトボールチームの事前合宿を進めた結果、2016年11月、台湾ソフトボール協会と基本協定を締結。 弘前市出身の柔道家・前田光世（ブラジル名 コンデ・コマ）がブラジルに渡り、柔道を広めた人物である縁をきっかけとして、ブラジル視覚障害者スポーツ連盟と覚書を締結。パラリンピック柔道の事前合宿誘致を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.12.9登録 ・2017.7.7ブラジル追加
	三沢市	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> 米軍基地が所在し、外国人との交流が盛んな国際都市であり、またユニバーサルタウンを目指すという方針からカナダのウィルチエアラグビーの事前合宿誘致を進めている。今後、選手等との交流を契機とし誰もが暮らしやすいまちづくりや共生社会の実現を図る。 	・2017.12.11登録
	今別町	モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> 2016年3月26日開通の北海道新幹線沿線で、本州最北端の駅ができる。 町長自身も元国体のフェンシング選手であるなどフェンシングが盛んな土地柄。 2015年10月にモンゴルのフェンシングチームの事前合宿の受入れが決定。小中学校生とモンゴル選手との交流機会を設け、町の伝統芸能である「荒馬」を披露するなど両国の文化交流の促進を図る。 	・2016.1.26登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
岩手県	盛岡市・紫波町	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> ・新渡戸稲造博士の終焉の地であるビクトリア市とは、姉妹都市を提携し、多種多様なスポーツ交流を中心に30年以上交流を継続。2020大会の追加競技となったこと、また2016年の希望郷いわて国体での開催場所となったことから、スポーツライミングを中心に事前合宿の誘致を行う。 ・既にカナダの水球及びラグビーの受入が決定している盛岡市と紫波町が連携し、バレーボールの事前合宿誘致を目指すとともに、両市町を含む盛岡広域市町が連携したカナダとの各種交流事業の展開を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.12.9登録 ・2018.8.31紫波町追加
	八幡平市	ルワンダ	<ul style="list-style-type: none"> ・市特産の花きであるリンドウの実証栽培をきっかけとしたルワンダとの交流が縁となり、ルワンダ国立オリンピックスポーツ組織委員会とホストタウン交流に係る覚書を締結。今後、事前合宿の受入やルワンダとの文化・スポーツ、リンドウを通じた交流が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018.8.31登録
	遠野市	ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の関心が最も高く、多くの人々に親しまれているサッカーを通じ、国際理解の促進や共生社会の実現、地域スポーツの推進を図るため、競技終了後の交流を含め、ブラジルの視覚障害者5人制サッカー代表の誘致を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017.12.11登録
宮城県	仙台市	イタリア	<ul style="list-style-type: none"> ・2002年FIFAワールドカップサッカー大会の開催時に、イタリア代表の合宿を受け入れた縁を活かし、同国の事前合宿を誘致。 ・「慶長遣欧使節団出帆400周年事業」などの実績を活用しながらイタリア文化に関連する交流事業を行う。同国はヨーロッパで数少ない地震のある国であることから、防災に関するシンポジウムを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.1.26登録
	白石市・柴田町	ベラルーシ	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台大学との連携により事前合宿招致推進協議会を組織し、ベラルーシ新体操の事前合宿誘致活動を実施。ベラルーシ体操協会と事前合宿に関する協定書を締結。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017.7.7登録
	蔵王町	パラオ	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次大戦後、パラオから多くの入植者を受入れ（このことにちなみ「北原尾（きたはらお）」という地名も存在）。 ・このような縁を活かし、パラオ共和国の事前合宿を誘致し、交流を深化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.1.26登録
秋田県	秋田県・大館市・仙北市・美郷町	タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・地元実業団チームと親交のあったタイのバドミントンチームとの交流。2020年に向け、相互に交流合宿を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.1.26登録 ・2016.12.9大館市、仙北市追加
	秋田市・秋田県	フィジー	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田市を本拠地とする「秋田ノーザンブレッツラグビーフットボールクラブ」のフィジー人コーチとフィジー首相のラグビーを通じた親交があることをきっかけに、事前合宿を誘致。2016年11月、同国青年スポーツ省とスポーツ交流に関する基本協定書を締結。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.12.9登録
	横手市・秋田県	インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアとの間で、同市の伝統行事である「かまくら」を通じた交流を実施してきた。 ・バドミントン日本リーグ1部に所属する北都銀行バドミントンチームと深い親交があり、2010・2013年度に、日本リーグ横手大会を開催。同チームに所属するコーチ（インドネシア出身）等を通じて事前合宿誘致を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.6.14登録 ・2016.12.9秋田県追加

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
秋田県	鹿角市	ハンガリー	・ 2002年にハンガリーのショプロン市と姉妹都市協定を締結し、以降、交流を継続。この交流を核としてバスケットボール、テニスの事前合宿誘致を進めている。	・ 2017.7.7登録
	大潟村・秋田県	デンマーク	・ デンマークとエネルギー分野をはじめとする交流を推進し、駐日デンマーク王国大使館と大潟村の総合交流の促進に関する覚書を締結。また、国体が開催されるなどボート競技が地域住民に親しまれていることから、デンマークのボート競技の事前合宿誘致を進めている。	・ 2017.7.7登録 ・ 2017.12.11秋田県追加
山形県	山形市	サモア、台湾、タイ	・ 東日本大震災時に県内最大の避難所として避難者を受け入れた「山形市総合スポーツセンター」における事前合宿を事業の核とし、復興を後押しするシンボル事業と位置づけ。 ・ 大学で柔道の国際交流の経験がある市職員の人脈を生かし、柔道を中心に事前合宿誘致を進める。	・ 2016.6.14登録
	米沢市	香港	・ フェンシングの世界大会出場選手などを多数輩出する山形県フェンシング協会は米沢市を中核としていることから、同協会と連携し香港のフェンシング競技の事前合宿誘致を進めている。	・ 2017.7.7登録
	鶴岡市・西川町	ドイツ、モルドバ	・ ドイツのザールラント州にスポーツ少年団の日独同時交流事業でホームステイした際のホストファミリーの紹介により、同州ザールブリュッケン市を中心に交流を進める。2016年10月に市長がドイツ訪問したことをきっかけに、州サッカー連盟・障害者スポーツ連盟が事前合宿のための視察に訪れる予定で、ボッチャの交流試合やサッカー講習会の開催を計画している。 ・ 本市の民間企業によるペレットプラント等整備事業の受注をきっかけとして、モルドバ共和国日本大使館の設立に貢献した縁などもあって、駐日大使より本市で事前合宿をしたいとの申出があった。カヌー競技の合宿実施の希望を持っていたことから、以前よりカヌー競技が盛んな西川町との共同での合宿誘致や文化交流を進める。	・ 2016.6.14登録 ・ 2016.12.9モルドバ追加 ・ 2018.6.29西川町追加
	酒田市	ニュージーランド	・ 市内の大学に、「ニュージーランド研究所」を併設しており、そこでは日本におけるニュージーランド研究の随一の拠点として、研究、教育活動を展開。この研究に長く携わっている副市長のネットワークや、NFの支援などを活かし、トライアスロンの事前合宿を誘致。2016年春の事前視察が決定。	・ 2016.12.9登録
	寒河江市・山形県	韓国	・ 韓国安東市と1974年に姉妹都市協定を締結し以後、40年以上にわたり交流を継続。また市内に東北最大級のスケートパークを有していることから、これらのつながりを活かし、韓国とのスケートボードを中心とした交流につなげる。	・ 2017.7.7登録
	上山市	ポーランド	・ 2015年世界陸上の際、蔵王坊平アスリートヴィレッジで事前合宿を行ったポーランドとの交流。 ・ 大会時に訪問する選手等に地元特産品を食してもらい、温泉入浴体験など地域資源のプロモーション活動を実施。	・ 2016.1.26登録
	村山市	ブルガリア	・ 市の花及びブルガリア国花である「バラ」を象徴とする交流を進めることとなった。また、市内中学校の新体操部監督の縁で、新体操の事前キャンプ誘致を進めた結果、2016年10月、同国新体操連盟と基本合意書を締結。今後、具体的な交渉を進める。また、スポーツ国際交流員（SEA）の招へいを進める。	・ 2016.12.9登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
山形県	長井市	タンザニア	・ 県内には国内で唯一の地方友好団体である「山形・タンザニア友好協会」があり、20年以上の交流を継続。この繋がり等を活かし、長井市とタンザニアは友好関係を深めるべく、事前合宿誘致を進める。	・ 2016.12.9登録
	天童市・山形県	トルクメニスタン	・ 大使が視察したことをきっかけに、スポーツや農業分野などでの交流することとなった。その後、大使館の協力を得て、トルクメニスタンオリンピック委員会と事前キャンプに関する協定書を締結予定。	・ 2016.12.9登録
	東根市	ドイツ	・ 1992年に開催されたベにばな国体におけるハンドボール会場を保有。また、市内にドイツに本拠を持つ企業の日本法人が操業していることを縁として、ドイツとのハンドボールを中心とした交流につなげる。	・ 2017.7.7登録
	南陽市	バルバドス	・ 在バルバドス日本大使館に山形県出身職員が勤務していることなどをきっかけに、陸上、水泳、射撃、トリアスロン、柔道の事前合宿誘致を進めている。	・ 2017.7.7登録
	白鷹町	中国	・ 当町では1992年に山形県で開催された「ベにばな国体」に合わせてソフトボール専用球場を整備し、成年女子ソフトボール競技を開催した。それ以降「ソフトボールの町しらたか」として、全国規模のソフトボール大会を開催しソフトボール競技の振興に取り組んできた。 ・ オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の人脈を生かし、中国ソフトボールチームの事前合宿誘致も含めて、選手や大会関係者を中心とした交流を進めていく。	・ 2018.8.31登録
福島県	福島市	スイス	・ 2013年8月、復興支援のためスイスの時計メーカーによるアクロバットショーが行われたことをきっかけに交流が始まった。その後も、市内でスカイスポーツ交流や世界的に有名な音楽イベントを開催するなど、交流を深めながら、サッカー、柔道、陸上競技、新体操などの事前合宿を誘致。	・ 2016.12.9登録
	会津若松市	タイ	・ 仏教徒が多く親日的なタイからの観光誘客に力を入れている。また、タイのバンパー社関連企業との間で、太陽光発電事業の協定を締結。この関係も生かして、事前合宿誘致を進める。 ・ タイ王国ではほとんど雪が降らないことから、主に冬のイベントへ招待するなど人的交流をメインにつながり強化。	・ 2016.6.14登録
	郡山市	オランダ	・ 国営開拓事業第1号となる安積開拓・安積疏水開さく事業に貢献したオランダ人技師が縁となり、30年近く姉妹都市交流を継続しており、そのつながりを活用して、事前合宿を誘致し、産業・経済分野での連携につなげる。	・ 2016.1.26登録
	いわき市	サモア	・ 2015年、第7回太平洋・島サミットを開催したことを契機に、市内に、サモアでは国内初の名誉領事館が開設。 ・ 2017年1月、東京2020大会までに実施されるラグビー競技の事前合宿や、文化交流事業への取組みを確約する覚書を締結する。 ・ 2017年以降、サモアとの交流事業に取組み、大会の開催機運の醸成と相互の友好関係の構築に努める。	・ 2016.6.14登録
	田村市	ネパール	・ ネパールの陸上競技の事前合宿誘致を進めるとともに、当市と地域活性化に関する包括連携協定を締結しており、ネパール人留学生が多く在籍するFSGカレッジリーグと連携し、スポーツや文化面での交流に取り組む。	・ 2018.6.29登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
福島県	猪苗代町	ガーナ	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の偉人である野口英世博士は、黄熱病の研究中にガーナ共和国において、終焉を迎えた。その後、野口英世博士の功績を顕彰し、20年以上の交流を継続している。 事前キャンプの誘致においては、ガーナ大使館の協力を得て、事前キャンプに関する協定書の締結を予定している。 	・2016.1.26登録
茨城県	茨城県・ 鉾田市	ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> 2014年のサン国家主席の来県を契機に、県と包括協定を結び幅広い交流を実施。鉾田市では多くのベトナム人農業実習生を受け入れており、また、水戸ホーリーホックには、ベトナムのメッシこと、グエン・コン・フォン選手が移籍したこと等を契機に、オリンピック・パラリンピックの各種競技の事前合宿を誘致。 	・2016.12.9登録
	龍ヶ崎市	キューバ、タイ、グアム、フィジー、	<ul style="list-style-type: none"> 市内の流通経済大学で、キューバ柔道チームの合宿を受け入れているといったつながりから、相手方より2020年までの毎年、事前合宿受入について要請を受けた。 地元の流通経済大学と協力のうえ、タイの陸上の事前合宿誘致を進めている。 グアムとフィジーの柔道代表候補が流通経済大学の柔道部に所属していることから、同大学と連携しグアム・フィジーの事前合宿誘致を進めている。 	・2016.12.9登録 ・2017.7.7タイ追加 ・2017.12.11グアム、フィジー追加
	笠間市	タイ、エチオピア、台湾	<ul style="list-style-type: none"> 同市の特産品である「笠間焼」のつながりから、タイ王国メーファールアン財団と、陶芸分野における協力関係を構築。 オリパラを契機にスポーツ・ビジネス分野を含めた交流を深めるべく、同市に所在する「穴戸ヒルズカントリークラブ」でのゴルフの事前合宿誘致を進める。 消防車両の寄贈をきっかけとした、エチオピアとの交流を発展させ陸上競技を中心とした交流につなげる。 競技終了後に台湾のゴルフ選手を招いて交流を実施。スポーツを通じて台湾との相互交流を進めるとともに、ゴルフによるスポーツツーリズムにより地域の振興・活性化を図る。 	・2016.6.14登録 ・2017.7.7エチオピア追加 ・2018.2.28台湾追加
	潮来市	台湾	<ul style="list-style-type: none"> 市のボートセンター「あめんぼ」は、地元の実業団等に使用されており、市民にとっても、ボート競技は身近なスポーツとなっている。坂東市、境町と2市1町で、「キャンプ誘致に関する包括連携協定」を締結し、ボート競技の事前合宿を誘致。 	・2016.12.9登録
	常陸大宮市	パラオ	<ul style="list-style-type: none"> 太平洋戦争で同国で亡くなった戦没者に茨城県内の出身者が多く、その慰霊訪問をきっかけに深い交流がある。 子ども達へのスポーツ用具寄附や、パラオからの留学生の受入などを通じ交流を深めながら、事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
	坂東市	リトアニア	<ul style="list-style-type: none"> 日本リトアニア友好協会との縁を活用して事前合宿を誘致。合宿を契機に交流を深め、同国の都市と友好都市協定締結を目指す。 	・2016.1.26登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
茨城県	桜川市	ブルガリア、モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の彫刻家、浅賀正治氏がブルガリアのコンクールで受賞したことより、同国との交流が始まった。2016年には、大使からの提案を受け、同国シリストラ市と友好交流都市協定を締結。 ・国内でも少ない I F 基準の射撃競技場を有しており、これらを活用しながら事前合宿を誘致。 ・市在住の多田尚克氏がモンゴルの射撃代表チームのコーチを務めていることから、射撃の事前合宿誘致を進め、平成29年7月に覚書を締結。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.12.9登録 ・2017.12.11モンゴル追加
	城里町	モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> ・N P Oモンゴル緑化日本協会の会長が当町出身であり、20年以上にわたり繋がりがあることから、モンゴルの空手競技の事前キャンプ実施を進める。さらに、これを契機として大会終了後も継続的に文化的な交流を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018.2.28登録
	境町	アルゼンチン	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー提督と共に来航してきたアルゼンチン人艦員と来航の記録を取った武士の子孫同士の縁で、昭和10年から80年以上同国と交流を続けている。 ・交流人口100万人を目指す町として、今後、町内の児童を同国に派遣するなど、国際交流を強化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.6.14登録
栃木県	栃木県	ハンガリー	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県益子町は、ハンガリー出身の著名な彫刻家ワグナー・ナンドールの移住の地。数多くの作品の制作など、芸術の振興に貢献している同氏の祖国を相手国として選定。 ・2015年世界陸上北京大会での事前合宿を受け入れた実績を生かし、事前合宿誘致を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.6.14登録
	那須塩原市	オーストリア	<ul style="list-style-type: none"> ・2005年からオーストリアと中学生や経済団体の交流を継続し、また、2000年より市内において関東学生トライアスロン選手権大会を開催していることをきっかけに、トライアスロンを中心に事前合宿誘致を進めている。今後、協定書を締結予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017.7.7登録
群馬県	前橋市	ハンガリー、スリランカ	<ul style="list-style-type: none"> ・1964年大会時、ハンガリーレスリングチームの競技補助員を務めた県教諭とハンガリー代表選手の親交が両国の柔道競技の交流に発展。それ以降、不定期ながら、相互訪問、親善試合等を開催。 ・今回の大会を契機にこの交流を強化し、事前合宿の誘致や交流の定期化などを目指す。 ・スリランカとのオリンピック事前キャンプ誘致をきっかけとした末永い交流を目指し、オリンピックの講演会や体験ツアー・食文化などを通じた相互交流の仕組みづくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.1.26登録 ・2018.2.28スリランカ追加
	高崎市	ポーランド、ウズベキスタン	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年、ワルシャワで開催した「高崎ものづくりフェア」等を契機に、2016年、リオ五輪バレーボール世界最終予選の事前合宿を受入れ。これらの実績より、事前合宿誘致や文化交流等を進める。14言語203人が登録を行っている「外国人観光客おもてなし通訳翻訳ボランティア」などの取組みをベースにホスピタリティー溢れるまちづくりを目指す。 ・平成30年に新体操の世界大会を開催予定の高崎アリーナを核とし、新体操を通じて交流を図る。合わせて文化面では、ウズベキスタン舞踊団の誘致や子供の絵画交流などを行う。また、高崎経済大学とタシケント国立経済大学との協定に基づく大学間交流を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.6.14登録 ・2018.4.27ウズベキスタン追加

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
群馬県	沼田市	ドイツ	・ 1995年からフュッセン市と姉妹都市として交流を継続し、また、沼田フェンシング協会を中心にフェンシングの普及・指導に力を入れ多くの日本代表を輩出。このようなつながりから、フェンシング競技の事前合宿誘致を進めている。	・ 2017.7.7登録
	川場村	米国	・ 1981年より、世田谷区と「縁組協定」を締結。その交流人口は190万人以上に達している。すでに米国と覚書を締結している世田谷区からの選手団及び関係者の受入について協力要請を受け、連携して取り組む。	・ 2016.12.9登録
埼玉県	埼玉県・所沢市	イタリア	・ 所沢市に早稲田大学のキャンパスが所在することから、同大学と連携しイタリア代表の事前合宿誘致を進め、平成29年10月に覚書を締結。今後、イタリアとの友好関係を深めていくとともに、地域の活性化を図る。	・ 2017.12.11登録
	埼玉県・加須市	コロンビア	・ コロンビアの柔道代表チームのコーチが埼玉県出身である縁から、同国の事前合宿誘致を進めている。今後、地元の平成国際大学や花咲徳栄高校とも連携し、スポーツを通じた若者が集う地域づくりを目指す。	・ 2017.12.11登録
	埼玉県・新座市	ブラジル	・ 学校法人立教学院とも連携しながら、立教学院新座キャンパスをはじめとする複数の施設を活用し、各種競技の事前合宿を誘致。	・ 2016.12.9登録
	さいたま市	オランダ	・ 2012年より、日蘭交流を目的とする市内空手教室とオランダ空手教室との姉妹道場としての交流や、同国空手道連盟選手の訪日指導などを実施。スポーツや文化面での交流を推進するため、平成28年12月11日、同国空手道連盟と事前合宿誘致に関する協定を締結。	・ 2016.12.9登録
	三郷市	ギリシャ	・ 大使を含め、大使館の職員が参加する「みさとシティハーフマラソン」を通じ、スポーツ交流を開始。上位入賞者には、同国からオリブ冠が授与されている。 ・ 新設される陸上競技場のオープニングイベントとして、同国との交流事業を実施する予定。陸上を中心に、事前合宿誘致を進める。	・ 2016.6.14登録
	幸手市	ベナン	・ 駐日ベナン共和国特命全権大使が当市の桜まつりを訪問したことをきっかけに、ホストタウンとしての交流について協議し「東京2020オリ・パラ競技大会を契機とした交流事業の合意書」を締結。文化・スポーツを通じたよりよい交流事業を展開する。	・ 2018.8.31登録
	鶴ヶ島市	ミャンマー	・ 市内にある今泉記念ビルマ奨学会が、ミャンマーからの留学生への支援や同国での寺子屋教育などの支援活動を約30年にわたり継続。市民が文具をミャンマーに贈る活動も行っている。このようなつながりから、地元の城西大学とも連携し、陸上、水泳、柔道を中心に事前合宿誘致を進め、今後、事前合宿の実施に係る覚書を締結予定。	・ 2017.7.7登録
	三芳町	オランダ	・ 淑徳大学及び町内各団体と連携し、オランダ柔道チームを受け入れ、親交を深めるとともに住民参加型のイベントにより地域の活性化を図る。オランダとの姉妹都市締結を行い、町内中学生や農業従事者が将来に渡って交流できる環境を作る。	・ 2018.4.27登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
埼玉県	寄居町	ブータン	<ul style="list-style-type: none"> 町は、ブータンのスポーツ親善大使である為末大氏と親交があることから、同氏の仲介により、事前合宿誘致や交流事業を行うべく交渉を行ってきた。 2016年5月、ブータンオリンピック委員会のワンチュク王子殿下御一行が来町し施設の視察や町民との交流事業を実施。 2016年10月、陸上競技の事前合宿実施の協定書を締結。交流事業や選手強化支援などの取り組みを本格化させる。 	・2016.6.14登録
千葉県	千葉県	オランダ	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年8月に開催された世界陸上北京大会の事前合宿を受け入れたことを縁として、東京大会についてもオランダ代表の事前合宿誘致を進め、平成28年7月にオランダオリンピック委員会とオリンピック・パラリンピック計22競技の事前合宿について基本合意。 	・2017.12.11登録
	市川市	ブルガリア	<ul style="list-style-type: none"> 既にブルガリア新体操チームの事前合宿受け入れが決定している山形県村山市と連携し、選手村入村後のチームの練習会場やスタッフの活動拠点として誘致を進めている。 	・2017.12.11登録
	船橋市	米国	<ul style="list-style-type: none"> 米国体操チームの関係者の協力を得ながら、事前合宿を誘致。 体操専用体育館が、2017年12月に完成予定であり、今後、受入条件等を協議し、覚書を締結予定。 	・2016.12.9登録
	館山市	オランダ	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県とオランダオリンピック委員会との事前合宿に係る基本合意に基づき、オリンピック3種目・パラリンピック1種目の受け入れの調整を進める。さらに、同国のパラリンピックを含む自転車競技の事前合宿誘致を推進している。 	・2017.12.11登録
	松戸市	ドミニカ共和国、ルーマニア	<ul style="list-style-type: none"> 外務省の地方視察ツアーを契機に、ドミニカとの交流を開始。2016年、ソフトボール連盟と事前合宿の覚書を締結。 リオ大会出場のマラソン選手を地元のマラソン大会に招待したことより、ルーマニア陸上連盟との交流を開始。2016年、同連盟と事前合宿に関する同意書を締結。 	・2016.12.9登録
	成田市	アイルランド	<ul style="list-style-type: none"> 既に2020年東京パラリンピックにおける事前キャンプの実施に関して覚書を締結しており、2018、19年にも事前キャンプを行う予定。様々な競技の事前キャンプを通じて、スポーツの振興はもとより、国際交流の促進や共生社会の実現につなげる。 	・2018.8.31登録
	佐倉市・成田市・印西市	米国	<ul style="list-style-type: none"> 2015年世界陸上北京大会での事前合宿受入をきっかけに、2020年においても、米国陸上チームの事前合宿受入を行うことで、合意済。 	・2016.12.9登録
	旭市	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年からデュッセルドルフ市と子ども同士の卓球交流を行っていることを縁として、ドイツの卓球代表の事前合宿誘致を進めており、これを契機とした更なるスポーツ交流、文化交流、人的交流を図る。 	・2017.12.11登録
	市原市	ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none"> 日本ソフトボール協会及び県のスポーツコンシェルジュの協力を得て、2018世界女子ソフトボール大会の合宿地に決定し、2020大会に向けても、引き続き事前合宿誘致を進める。 	・2016.12.9登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
千葉県	流山市	オランダ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治期に、オランダ人技師によって設計された利根運河があることから、歴史的なつながりを含め、交流が続けている。 ・ 2016リオ大会の公式卓球台プロバイダーに選ばれた世界的な卓球台メーカーが市内にあり、また、キッコーマン アリーナの竣工式に大使館やNOCの関係者が出席したこと等、様々な人脈を活用し、卓球等の事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
	浦安市	英国	<ul style="list-style-type: none"> ・ (一社)日本車いすバスケットボール連盟所属の元市職員を通じて、2016年、2017年に日本で開催された国際大会時に、車いすバスケットボール英国代表チームの事前キャンプを受入れた縁をきっかけとして、2019年、2020年においてもキャンプ誘致を進め、選手等と市民との交流を目指す。 	・2018.2.28登録
	山武市	スリランカ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 里親里子交流をきっかけに、2014年12月にスリランカの事前合宿受入れが決定。 ・ 市の地方創生総合戦略にもオリパラに係る取組みを位置付けており、スリランカ公用語のシンハラ語教室の開催や「田んぼアート」による歓迎イベント、市内農産物の加工品販売拡大等を通じ、地方創生につなげる。 	・2016.1.26登録
	横芝光町	ベリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内在住の日本ベリーズ友好協会理事とベリーズ国名誉総領事との縁により事前合宿受入の基本合意書を締結。ホストタウンを契機に、大使館、J I C A、元青年海外協力隊員などを通じ、大会後の継続的な交流を図り、友好関係を築いていく。 	・2018.2.28登録
東京都	文京区	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1988年にカイザースラウテルン市と姉妹都市提携をしており、ホームステイ交換事業や文化・芸術、スポーツを通じた区民交流事業を実施している。 ・ 柔道を中心としたパラリンピック競技等の選手との交流を目指し、交渉を進めていく。 	・2016.12.9登録
	目黒区	ケニア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区内に駐日ケニア大使館が所在し、目黒区国際交流協会が主催する国際交流フェスティバルに長年参加するなど、これまで積極的に地域との交流が行われてきた。 ・ 2017年11月には、交流に係る覚書を締結。ケニアのオリンピック・パラリンピアンと小・中学校生とのスポーツ交流やケニア文化の紹介などの交流を実施し、大会終了後も継続していく。 	・2017.12.11登録
	大田区	ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年6月にブラジルオリンピック委員会と事前合宿に係る覚書を締結。同委員会は地域交流に積極的に取り組む意向を示しており、平成30年以降の交流に向け調整を行っている。 	・2017.12.11登録
	世田谷区	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2015年11月、区と米国オリンピック委員会との間で覚書を締結。2017年9月までに、詳細を定めた協定書を締結する予定。大会終了後も継続して区民との交流事業を実施できるよう交渉していく。 	・2016.6.14登録
	江戸川区	オランダ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本スポーツ振興センターの事業を通じ、オランダオリンピック委員会・スポーツ連合と「パラスポーツ2020オランダ連携プロジェクト」を実施することが決定。4年間にわたりパラアスリートと交流を実施予定。 	・2017.7.7登録
	武蔵野市	ルーマニア	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルーマニア革命から間もない1992年から友好都市交流のあるブラショフ市との交流が基盤。毎年50日間、日本文化研修のためブラショフ市民を招へい。 ・ これまでの交流をさらに深めていくため、オリパラを契機に、文化分野に加えスポーツ分野での交流を開始。 	・2016.1.26登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
東京都	青梅市	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> 1965年、ポッパルト市と姉妹都市提携を締結。同市寄贈のブドウの木から収穫された実を使った「おうめワイン ポッパルトの雫」の販売、青少年交流やマラソン交流など多様な分野における交流を続けている。 多数のオリンピックを輩出しているカヌースラロームの聖地「御岳渓谷」を活用し、事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
	府中市	オーストリア、オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> 平成4年にウィーン市ヘルナルス区と友好都市提携を結び、以後25年に渡り市民を交えた文化交流等を継続。これを縁として、オーストリアの卓球代表の事前合宿誘致を進めている。 野球オーストラリア代表チームが2018年、2019年、2020年に日本国内で実施する事前合宿をすべて受け入れ、滞在中には市民との交流を図る。また事前合宿を契機として、スポーツ・文化・経済など、様々な分野での交流を推進・継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017.12.11登録 ・2018.2.28オーストラリア追加
	調布市	サウジアラビア	<ul style="list-style-type: none"> 2002年FIFAワールドカップサッカー大会の事前合宿を受け入れたことを契機に交流が開始。 今回の大会を契機に一層の交流を展開。調布市花火大会に同国関係者を招待するなど調布の魅力を体験してもらうとともに、大会時には選手の小学校訪問等の交流事業を検討。 	・2016.1.26登録
	町田市	南アフリカ	<ul style="list-style-type: none"> 2015年、同国のラグビーチームが強化合宿を実施。これをきっかけに、ラグビー等の事前合宿誘致を進める。 「ネルソンマンデラ月間」などの同国の関連行事に合わせ、イベントを実施。 	・2016.6.14登録
	東村山市	中国	<ul style="list-style-type: none"> 2004年に中華人民共和国の蘇州市と友好交流都市の協定を締結し、以降、教育交流等を継続。この交流を核として、中華人民共和国とのサッカー、卓球競技を中心とした交流につなげる。 	・2017.7.7登録
	国分寺市	ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> JICAによる行政視察の受入れや、市内の企業・大学による医療・経済・文化・教育等の民間交流をベースとした官民連携による国際交流の促進と、事前キャンプ受入等による選手との交流を契機とし東京2020大会の機運醸成と地域活性化を図る。 	・2018.8.31登録
	武蔵村山市	モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> 市では小学校の授業への導入や大会の開催など相撲の取組に力を入れていることから、モンゴル相撲が盛んなモンゴルを相手国とし、競技終了後にモンゴルのオリンピックを招いた交流会の実施や、両国の子どもたちを中心とした文化・スポーツ交流を図る。 	・2017.12.11登録
神奈川県	神奈川県・小田原市・大磯町・箱根町	エリトリア、ブータン、ミャンマー	<ul style="list-style-type: none"> 「国は違えど空（SKY）は同じ」。エリトリア国関係者との交流等を通じ、地域における「（S）スポーツの振興」「（K）教育文化の向上」「（Y）友好関係の構築」を実施。 東京マラソン等で来日する選手を地域イベントに招待し、おもてなし。小田原提灯・寄木細工等特産品を活用し、地域の魅力を発信。 既にエリトリアと実施している交流事業「SKYプロジェクト」にブータンを追加し、大会参加のため来日する選手や大使館関係者を地域のイベント等に招き、スポーツや教育文化に係る交流事業を実施する。 東京2020大会へ向けたブータンの事前合宿誘致活動を実施している。 ミャンマーを相手国として事前キャンプに関する協定を締結。既にホストタウンの相手国となっているエリトリア、ブータンとともに「SKYプロジェクト」による交流を実施し、地域に住む人々の心に残る価値を創造し、未病を改善し、皆が生き活きと暮らせる社会の実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.1.26登録 ・2016.12.9ブータン追加 ・2018.8.31ミャンマー追加

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
神奈川県	横浜市	英国、チュニジア、イスラエル、ベナン、ボツワナ	<ul style="list-style-type: none"> 英国の事前合宿の受入れと、それを契機とした選手等との交流。駐日英国大使館と連携した交流事業や、2019年ラグビーワールドカップ開催地でもあることから、ラグビー交流にも取り組む。 横浜で開催された第4回、第5回アフリカ開発会議を契機に、チュニジアと交流を深める。また、2019年の第7回会議の開催地にも選ばれている。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機会をとりえ、駐日チュニジア大使館と協力し、これまで積み重ねてきた交流を一層促進することで、相互理解の促進につなげ、また、ともに成長を目指す。 平成24年にテルアビブ・ヤッフォ市と「共同声明」を行って以来、同市を中心にイスラエルと連携を深めている。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機会をとりえ、駐日イスラエル大使館と協力し、これまで積み重ねてきた交流・協力を一層促進することで、相互理解の促進につなげ、また、ともに成長を目指す。 当市とベナン共和国は、過去2回のアフリカ開発会議横浜開催や、平成25年に行った交流協力共同声明を契機に、若い世代の交流や港湾の技術協力などの分野で交流を深めてきた。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機会をとりえ、駐日ベナン大使館と協力し、これまで積み重ねてきた交流を一層促進することで、相互理解の促進につなげ、また、ともに成長を目指す。 当市はアフリカ開発会議の開催を契機に、アフリカ各国とのつながりを深めており、2019年の第7回アフリカ開発会議の開催都市にも決定している。特に、ボツワナ共和国と横浜市都筑区とは個別の交流を深めており、過去の取組を礎にした更なる相互理解や相互交流につなげるべく、平成28年には共同発表も行った。「アフリカに一番近い都市 横浜」として、横浜市民のアフリカへの理解や関心を更に高めるため、選手と市民・企業とが交流する場面を設け、ボツワナ共和国との国際交流をこれまで以上に深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.1.26登録 ・2018.4.27チュニジア、イスラエル追加 ・2018.8.31ベナン、ボツワナ追加
	川崎市	英国	<ul style="list-style-type: none"> JOCの取組と連携して、英国の事前合宿を受入れ。選手と子どもたちの継続的な交流のほか、ミュージア川崎シンフォニーホール等音楽施設への英国の音楽家の招聘などの交流事業を実施。 	・2016.1.26登録
	相模原市	ブラジル、カナダ	<ul style="list-style-type: none"> 女子サッカー、女子バレーボール等の事前合宿に関し、ブラジルオリンピック委員会、JOCとの間で覚書を締結（2017年6月）。 「さがプロ2020基本方針」を踏まえ、大会後のレガシー創出を念頭に、ブラジルとの間の交流事業や、パラスポーツ・障害者スポーツの普及活動に取り組む。 市内サッカーチームにはブラジル人選手が在籍しているほか、約300名のブラジル人が在住。 カナダボートチームの事前合宿に関し、カナダボート協会、日本ボート協会及び神奈川県との間で覚書を締結（2018年1月）。 1991年からトロント市と友好都市の関係を継続しており、事前合宿で使用する相模湖漕艇場の施設所有者である神奈川県と連携しながら、事前合宿受入れを契機に交流の深化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017.12.11登録 ・2018.4.27カナダ追加
	平塚市・神奈川県	リトアニア	<ul style="list-style-type: none"> リトアニアの事前合宿（バスケットボール等）を誘致。合宿を契機に同国と市内にある多様な教育機関との間で、学術交流や市民レベルの相互派遣を大会後も継続。 	・2016.1.26登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
神奈川県	小田原市	モルディブ	<ul style="list-style-type: none"> ・モルディブ大統領の来日計画をきっかけとした縁から、国際交流イベント「地球市民フェスタ」にモルディブ大使等に参加いただくなど交流を継続。 ・バドミントン、卓球の事前合宿誘致を進めている。 	・2017.7.7登録
	厚木市	ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none"> ・事前合宿誘致に向けて、ニュージーランドラグビー協会との意見交換及び交流計画を実施するとともに、大会後も同国との交流を継続。 	・2016.1.26登録
	葉山町	英国	<ul style="list-style-type: none"> ・英国セーリングチームの事前合宿を受け入れ。 ・「日本ヨット発祥の地」として、すべての町民がヨットに1度は乗船し、ヨットを身近に感じてもらうイベントを開催している。 	・2017.7.7登録
新潟県	新潟県・新潟市・長岡市・燕市・五泉市・弥彦村	モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴルのアーチェリーチームの事前合宿を誘致。横綱日馬富士関などモンゴル人力士や地元大学の留学生などと交流。 ・市民を対象に同国の伝統や文化を学ぶ交流事業を展開。市内の小中学校生を同国に派遣。 	・2016.1.26登録
	新潟市	フランス	<ul style="list-style-type: none"> ・1991年、市民有志による新潟・フランス協会が設立され、同協会を中心にナント市などと交流。これまでの交流を契機に、レスリング、空手、野球の各種競技の事前合宿誘致に取り組む。 	・2016.12.9登録
	長岡市	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> ・2020東京オリンピック・パラリンピックだけでなく、2018/パンパシフィック水泳選手権、2019FINA世界水泳選手権のオーストラリア競泳チームの事前合宿を受け入れる。 ・トップレベルのスポーツに触れ、市民の関心を高めるとともに、国際交流の促進を図る。 	・2017.7.7登録
	柏崎市	モンテネグロ、セルビア	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の水球社会人チームの人脈を活用して、モンテネグロ、セルビアの水球チームの事前合宿を誘致。 ・大会前から、同チームに在籍する選手と市民との交流を進め、2020年に向けた機運を醸成。 	・2016.1.26登録
	十日町市	クロアチア	<ul style="list-style-type: none"> ・2002年FIFAワールドカップサッカー大会においてクロアチアの事前合宿を受け入れた縁で交流を継続している。 ・大会前から、ユースチームの受入れを行うなどして2020年に向けた機運を醸成。毎年実施している「クロアチアウィーク」において観光、食、写真展などによる交流を実施。3年に1度開催される芸術祭「大地の芸術祭」とも連携。 	・2016.1.26登録
	妙高市	スロベニア	<ul style="list-style-type: none"> ・「合宿の郷 妙高」をスローガンにスポーツ合宿の誘致拡大に向けた施策を展開。 ・オリンピックを数多く輩出している柔道クラブが所在するスロヴェニ・グラデツ市との姉妹都市交流を契機に、柔道などの事前合宿誘致を目指す。 	・2017.7.7登録
	上越市	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> ・国内で有数の体操専用練習施設(大潟体操アリーナ)があることから、ドイツの体操チームの事前合宿を招致。大会前にジュニア選手との交流を行うほか、協定を締結した大学と連携しスポーツ振興を図る。 ・2016年10月にドイツ体操連盟と事前合宿に関する覚書を締結。 	・2016.1.26登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
富山県	高岡市	ポーランド	<ul style="list-style-type: none"> 民間レベルでの相互交流をきっかけにポーランドとの経済、文化、スポーツ等交流を継続。市出身の登坂絵莉選手がリオ五輪女子レスリングで金メダルを獲得するなどレスリングが盛んであることから、ポーランドのレスリングを中心に事前合宿誘致を進めている。 	・2017.7.7登録
石川県	石川県・小松市	ニュージーランド、ブラジル、英国、フランス、カナダ、モザンビーク	<ul style="list-style-type: none"> 文科省のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の認定を受けたカヌー競技場を保有。 ニュージーランドは2017年から2020年まで4年連続、ブラジルは2017年及び2020年、カナダは2018年から2020年まで3年連続、英国は2019年及び2020年、フランス、モザンビークは2020年の事前合宿受入について合意。 選手等の滞在中は、歓迎会や競技教室の開催等、住民との交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017.7.7登録 ・2017.12.11ブラジル追加 ・2018.6.29英国、フランス、カナダ、モザンビーク追加
	金沢市	フランス	<ul style="list-style-type: none"> 1973年より、ナンシー市と姉妹都市協定を締結し、スポーツ、教育、文化など様々な分野の交流を継続。特に、交換留学生については40年以上継続しており、教員交流や、大学生のインターンの交換なども実施している。 地域として盛んなトランポリン、ウエイトリフティングや新しく施設が完成する水泳の事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
福井県	福井市	スロベニア	<ul style="list-style-type: none"> 福井市で盛んなスポーツであり、平成30年の福井国体の開催施設を持つハンドボール、バスケットボールについて、スロベニア選手の事前合宿誘致を進めており、パラリンピック選手の事前合宿も含め、覚書を調整していく。 伝統的に「そば」を多く食べることや、「水仙」の栽培が盛んという共通点をきっかけとして、市民交流を進めていき、また相互の観光業の振興にもつなげていく。 	・2017.12.11登録
	大野市	東ティモール	<ul style="list-style-type: none"> 水への恩返しCarrying Water Projectを立ち上げ、水の確保に苦しんでいる東ティモールを支援するとともに、市民との交流を実施。このようなつながりを活かし、東ティモールと大会後も含めた相互交流を進めていく。 	・2017.7.7登録
	鯖江市	中国	<ul style="list-style-type: none"> これまでに1995年世界体操競技選手権大会や1998年体操競技ワールドカップを開いた実績があり、「体操のまち さばえ」を誇りとしている。 眼鏡産業などで交流の深い中国との交流を通じて、活力とにぎわいのあるまちづくりを推進していく。 	・2017.7.7登録
山梨県	甲府市	フランス	<ul style="list-style-type: none"> フランス卓球連盟と事前合宿について基本合意書を2017年10月に締結。卓球を軸に幅広い層の市民交流や文化交流を行う。 甲府市はポー市と40数年にわたり姉妹都市交流を実施。これまでの相互交流を継続・発展させていく。 	・2017.12.11登録
	富士吉田市・山梨県	フランス	<ul style="list-style-type: none"> 1978年より、シャモニンブラン市と姉妹都市提携を締結し、民族舞踊と日本太鼓の伝統芸能による文化交流などを継続。過去にFIFAワールドカップサッカー大会の事前合宿など、国内外のトップアスリートの合宿を受け入れた実績をいかし、同国ラグビーチームの事前合宿誘致を進める。世界遺産富士山を擁する特性をいかし、「スポーツツーリズム」の定着を図る。 	・2016.6.14登録
	山梨市	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> 国体で30年以上入賞するなど、高校を中心に大変盛んなウエイトリフティングの事前合宿誘致を進める。 	・2016.12.9登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
山梨県	北杜市	フランス	<ul style="list-style-type: none"> 日本で唯一IF基準を満たすBMX施設が市内に所在。初心者や家族連れからトップ選手まで、幅広い層が訪れ、BMX競技への興味や関心が急速に浸透。 事前合宿を通じたフランスとの交流を契機に、北杜市＝「自転車の聖地」というブランド構築を図るとともに、食資源の世界発信を目指す。 	・2017.7.7登録
	笛吹市	タイ	<ul style="list-style-type: none"> 市の職員に、リオ大会ウェイトリフティングに出場した中山選手や競技関係者がおり、同競技が盛んな地域であることから、定期的なスポーツ交流や事前合宿誘致等に取り組む。 	・2016.12.9登録
	甲州市	フランス	<ul style="list-style-type: none"> ワイン産業を通じ、姉妹都市交流40周年を迎えたボーヌ市があるフランスを相手国として、県のスーパーバイザーと共に、市で盛んなハンドボールの事前合宿誘致に取り組む。 	・2016.12.9登録
	西桂町	フランス	<ul style="list-style-type: none"> フランスフェンシングチームの事前合宿に係る基本合意を契機に、町の伝統産業である織物産業とフランスのファッション産業との経済交流、教育交流を実施し、人的・経済的・文化的な相互交流を進める。 	・2018.2.28登録
	忍野村	フランス	<ul style="list-style-type: none"> 以前から交流のあったフランスを相手国として、県のスーパーバイザーと共に、村で盛んなバスケットボールの事前合宿誘致に取り組む。 	・2016.12.9登録
	山中湖村	フランス	<ul style="list-style-type: none"> 山中湖交流プラザ「きらら」を会場に、県のスーパーバイザーと共にアーチェリーの事前合宿誘致に取り組む。 	・2016.12.9登録
	富士河口湖町・鳴沢村	フランス	<ul style="list-style-type: none"> 以前から姉妹村提携を結んでいるセリエール村のあるフランスを相手国として、県のスーパーバイザーと共に、西湖を活かしたトライアスロンや、バレーボールの事前合宿誘致に取り組む。 	・2016.12.9登録
長野県	長野県・長野市・上田市・須坂市・飯山市・下諏訪町・山ノ内町	中国	<ul style="list-style-type: none"> これまで、冬季競技を通じて交流を深めてきた中国と、長野県日中友好協会、中国国家体育总局及び大使館の協力を得て、大会後に選手と交流することについて合意、調整を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.12.9登録 ・2017年7.7長野市追加
	長野市	デンマーク	<ul style="list-style-type: none"> 2018年ワールドカップ東京を皮切りに、2019年世界水泳、2020年東京オリンピック、2021年世界水泳までの4大会においてデンマークの競泳事前合宿の受入れを行い、継続してデンマークを応援する機運を高めていくとともに、選手と当市児童生徒等との交流等を行う。 	・2018.2.28登録
	岡谷市	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> 卓球カナダ代表選手等を招いて、市民を対象とした競技講習会、エキシビジョンマッチを開催するほか、事前合宿を受け入れ、全国大会等で上位進出を果たしている市役所卓球部がトレーニングパートナーを務める。これらにより、卓球を通じたまちの活力の創出、スポーツ振興を図る。 	・2018.6.29登録
	伊那市	東ティモール	<ul style="list-style-type: none"> 元東ティモール日本国大使であった北原巖男氏が伊那市出身であることを縁に、これまで交流を継続。同氏の協力を得ながら、東ティモール選手団の事前合宿の誘致を目指す。また、大会後も含めた相互交流を進めていく。 	・2017.7.7登録
	駒ヶ根市	ベネズエラ、ネパール	<ul style="list-style-type: none"> 市内に「JICA青年海外協力隊訓練所」がある縁から、かねてより交流のあるベネズエラ・ネパールの選手に2020年大会時に訪問してもらう。音楽家を招へいして音楽祭を開催するなど文化交流も実施。 	・2016.1.26登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
長野県	佐久市	エストニア	<ul style="list-style-type: none"> ・ エストニア国内の都市と姉妹都市協定を結ぶ国内唯一の都市で、2005年のスペシャルオリンピック長野大会の際も同国の選手団をホームステイなどで受入れ。 ・ こうした縁を活かし、同国の事前合宿を誘致するとともに、子ども同士の相互訪問を開始するなど、交流を深化。 	・2016.1.26登録
	東御市	モルドバ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「千曲川ワインバレー（東地区）特区」の構成市となっており、ワインが主要輸出品であるモルドバと交流を深めることで、国内外に魅力を発信する。 	・2017.7.7登録
	安曇野市	オーストリア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1986年より、オーストリア共和国クラムザッハ町と姉妹都市交流を継続。 ・ 北信越国民体育大会でも利用されている龍門淵公園内前川カヌースラロームコースを活用し、オリンピック出場選手等のデモンストレーションや、カヌー教室等を開催することにより、カヌー競技の普及と国際交流を推進する。 	・2016.6.14登録
	立科町	ウガンダ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標高1,500mに位置する信州白樺高原は、中長距離走練習の適地であり、これを生かしてウガンダの陸上チームの事前合宿を実施する。当地で行われるマラソン大会や合宿に訪れる市民・学生ランナー及び当町の児童・生徒等との交流により、ウガンダチームを応援する機運と当地の認知度を高めていく。 	・2018.2.28登録
	松川町	コスタリカ	<ul style="list-style-type: none"> ・ JICAの研修先として、コスタリカから多くの研修生を受け入れてきたことから、国際交流事業を計画し、事前合宿の誘致を進める。近日中に、覚書を締結する予定。 	・2016.12.9登録
岐阜県	岐阜県・高山市・下呂市	英国、フランス、米国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアでこれまで世界陸上大会等の事前合宿を行ってきた国々を誘致。 ・ 飛騨牛や木工など飛騨文化を相手国の方に体験してもらいイベントの開催に加え、相手国で開催される国際観光展への出展など、経済、観光面での交流も計画。 	・2016.1.26登録
	岐阜市	スロバキア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在スロバキア日本国大使館を通じたスロバキアの首都ブラチスラバ市との姉妹都市交流の提案をきっかけに、都市間交流を推進しながらスロバキア選手団の事前合宿の誘致に取り組む。 	・2016.12.9登録
	羽島市	スリランカ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10年以上前からハーモニカや消防自動車、救急自動車をスリランカに寄付するなど、市民団体による交流を継続。 ・ 大会後に選手団と小中学生の交流活動を実施し、スポーツの意義や国際社会における多様性を学ぶ。 	・2017.7.7登録
	各務原市・岐阜県	英国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2015年、英国オリンピック委員会と岐阜県が、各務原市の川崎重工ホッケースタジアムを含んだ施設の使用について覚書を締結。 	・2016.12.9登録
	郡上市	コロンビア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郡上市は、市内に女子ラグビークラブを設立し、公民館でもラグビー教室を設けるなどラグビーの普及に力を入れている。 ・ コロンビア・ラグビー協会との間で2018年9月には、ユース女子チームを招待し、郡上市の小・中学生との交流や近隣の地区の同じ年代の女子チームとラグビー交流試合を開催することに合意した。 ・ この合意をきっかけとして、ラグビー代表選手・監督の大会前後の郡上市訪問を含めたコロンビアとの交流事業を進めていく。 	・2018.6.29登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
岐阜県	八百津町	イスラエル	<ul style="list-style-type: none"> 八百津町は「命のビザ」で知られる杉原千畝氏のふるさとであることから、イスラエルとの関係が深く、これまでも交流事業を多く行ってきた。 競技終了後に選手が八百津町を訪問、交流することにつき合意済。2020年に向け、イスラエル理解のためのイベントの実施等を予定している。 	・2017.12.11登録
静岡県	静岡市	スペイン、台湾	<ul style="list-style-type: none"> 天下統一を果たした徳川家康が、スペインの難破船救援の際に、駿府城で船員と面会し帰国のための帆船の貸与を決めるなど、同市は両国の友好を拓く歴史的舞台となった。また、台湾とは、2013年の経済ミッションから、台湾バドミントン協会の強化合宿を受け入れるなど、様々な交流を実施。 サッカーや新体操、バドミントン、ウエイトリフティングなどの事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
	浜松市	ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> ブラジルからの移住者が多く、これまで多文化共生社会の実現に向けた取り組みを実施。2016年度には、スポーツ指導者ボランティアの募集登録を行う、スポーツ人材バンクを設立。事前合宿誘致を進めるべく、ブラジルオリンピック委員会の視察を受け入れ。また、2016年4月、同パラリンピック委員会と事前合宿誘致に向けた確認書を締結。 	・2016.6.14登録
	三島市	米国	<ul style="list-style-type: none"> 2015年バレーボールワールドカップの際、地元のチーム（東レアローズ）と連携して米国の事前合宿を誘致。 大会までの間、バレーの国際大会が行われる際、相手国と一緒に三嶋大社の見学や夏祭りの体験などを実施。 	・2016.1.26登録
	富士宮市	スペイン	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年2月にスペイン空手道連盟と事前合宿に関する覚書を締結。今後、事前合宿受入れに向けた準備を進めるとともに、空手を中心とした交流を進める。 	・2017.7.7登録
	島田市	モンゴル、シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> モンゴル国ボクシング競技の事前合宿を受け入れ。 受け入れにより、国際交流の促進、スポーツの振興、観光誘客による交流人口の増加、オリンピック・パラリンピックに対する意識の高揚等により、市の活性化につなげる。 シンガポール卓球協会との間で事前合宿について合意。協定締結に向けて調整を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017.7.7登録 ・2017.12.11シンガポール追加
	富士市	スイス	<ul style="list-style-type: none"> スイス連邦水泳選手団の事前合宿を契機として、スイス水泳連盟と互惠関係を構築し、スイス連邦と当市の住民に対し、水泳やその他分野の交流機会を提供することで、当市水泳選手の強化、障害者スポーツの普及、国際交流・協力に対する意欲の向上、多文化共生意識の向上につなげる。 	・2018.8.31登録
	焼津市	モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> 2015年8月にモンゴルレスリングチームの事前合宿受入を決定。モンゴルの代表的な祭典「ナードム」を擬した「焼津ナードム」を開催し、モンゴルへの愛着を高め、まちぐるみで同国を応援する体制を構築。 	・2016.1.26登録
	掛川市	台湾	<ul style="list-style-type: none"> 市内にJOCアーチェリー強化センターが所在することを活かし、台湾チームを誘致。 台湾事務所を持つ県との取り組みとも連動。 	・2016.1.26登録
	藤枝市	イタリア	<ul style="list-style-type: none"> 2015年9月、ロンドン五輪金メダリストを含むイタリア射撃チームを同市の射撃施設（2003年国体ライフル会場）に招へいし、視察や市民との交流事業を実施。また、同国の柔道チームなどの事前合宿の誘致にも取り組む。 	・2016.1.26登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
静岡県	御殿場市	台湾、韓国、イタリア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2014年から台湾サッカー女子代表チームが市内で合宿するなど、民間レベルでのスポーツ、経済交流が盛ん。これまでの実績を生かし、事前合宿誘致を進める。 ・ 韓国体育大学と連携して、ナショナルチームの事前合宿誘致を進める。 ・ 日本代表選手を数多く輩出する空手強豪高校が所在する市の資源を生かし、イタリア共和国の空手代表選手の合宿を受入れ、同国との相互交流による教育面、文化面の交流に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2016.6.14登録 ・ 2016.12.9韓国追加 ・ 2018.6.29イタリア追加
	下田市	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牧之原市と連携のうえ、1854年にペリー提督率いる黒船が来航するなど、古くから縁のある米国とサーフィンを中心とした交流を進める。 	・ 2017.12.11登録
	伊豆の国市	モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソンギノハイラン区との交流を契機に、2015年8月、モンゴルの柔道選手団及びパラリンピック選手団の受入れが決定。選手団と市の柔道少年団等との交流を大会前から継続的に行き、機運を高める。 	・ 2016.1.26登録
	牧之原市	中国、米国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2009年に開港した富士山静岡空港が立地し、中華人民共和国からの観光客等を多く受け入れている。また、古くからサーフィンが親しまれてきた土地であることを活かし、サーフィンの事前合宿誘致を進めている。 ・ 姉妹都市における高校生同士の相互交流が以前から行われている米国と、サーフィンを中心とした交流を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2017.7.7登録 ・ 2017.12.11米国追加
愛知県	名古屋市	フランス、カナダ、ウズベキスタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術館同士の交流があったランス市を通じて、フランス柔道の事前合宿誘致を目指す。 ・ カナダシクロチームの事前合宿を2020年に向けて毎年受入れ予定。カナダ車椅子バスケットボールチームと日本との選手強化や、技術の交換、協同体制の構築に尽力している人的交流を通じて事前合宿誘致を目指す。バンクーバー⇄中部国際空港便も就航。 ・ 名古屋大学とウズベキスタンの学術交流を通じて、同国のボクシング・ウエイトリフティング等の受入れを予定。 	・ 2017.7.7登録
	豊橋市	ドイツ、リトアニア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1991年、ドイツの自動車会社の進出をきっかけに、ヴォルフスブルグ市とパートナー協定書を締結し交流を継続。フェンシング、陸上の事前合宿誘致を進める。 ・ リトアニアとは、2005年の愛地球博のフレンドシップ事業をきっかけに交流を継続。同じくリトアニアとの交流を計画する平塚市と、プロバスケットチームとのエキシビションマッチやスポーツ交流を行うなど、都市間で連携することを合意済。 	・ 2016.6.14登録
	半田市	中国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成5年に徐州市と友好都市提携を結び、青少年を中心としたスポーツ交流や文化芸術交流を20年以上にわたり継続。このつながりを活かし、競技終了後に中国のオリンピックを招いて交流を実施するなど更なる交流の促進を図る。 	・ 2017.12.11登録
	豊田市	英国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1998年の英国ダービーシャー県、ダービー特別市、南ダービーシャー市との姉妹都市提携締結や、2005年愛知万博で英国のホストシティでもあったつながりから、大会時における英国の選手の招聘と交流を、姉妹都市関係者の協力を得て進める。 	・ 2016.12.9登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
愛知県	稲沢市	ギリシャ	・ かつて古代オリンピックが行われたオリンピア市と、日本で唯一かつ世界で初めて姉妹都市連携を締結。長野冬季大会及び、アテネ大会以降の夏季大会開催ごとに、市内中学生が、オリンピア市を訪問し、聖火リレーに参加。2020大会で、選手等と交流できるよう調整を進める。	・ 2016.6.14登録
	美浜町	シンガポール	・ 町出身の幕末の船乗り「音吉」の縁からシンガポールとの交流を継続。リオパラリンピック日本代表選手団陸上競技のヘッドコーチが所属する日本福祉大学と連携し、パラ陸上の事前合宿誘致を目指すとともに交流を進める。	・ 2017.7.7登録
三重県	四日市市	カナダ	・ カナダ体操（体操・新体操・トランポリン）の事前合宿受入れで同国と合意。主にジュニア育成のための相互派遣を柱とした地元の体操協会と同国の体操クラブとの交流を予定。平成33年開催の「三重とこわか国体」に向けて、オリンピック選手の演技に市民が直接触れることにより、機運醸成を図る。	・ 2017.7.7登録
	熊野市	台湾	・ 当市で30年間にわたり実施しているソフトボールキャンプでのつながりをきっかけとして、2026年に愛知県で開催されるアジア競技大会での事前合宿受け入れも視野に入れつつ、台湾とソフトボールを軸とした交流を深める。	・ 2018.8.31登録
滋賀県	滋賀県・大津市	デンマーク	・ 琵琶湖を生かした湖上スポーツを切り口に、地域活性化や滋賀県大津市の魅力発信を図る。 ・ 2005年、ボートの世界選手権の際、同国の事前合宿を琵琶湖で実施した実績をもとに、ボートを中心に事前合宿誘致を進める。	・ 2016.6.14登録
	滋賀県・彦根市	スペイン	・ 彦根市と類似した観光資源である城郭都市の世界遺産を有するスペインを相手国とし、ハンドボール代表の事前合宿の実施について覚書を締結。琵琶湖、彦根城、美食など、滋賀県・彦根市ならではの資源を活用し、文化、観光の面においても、スペインとの交流を拡大していく。	・ 2018.8.31登録
	滋賀県・甲賀市	シンガポール	・ シンガポールパラリンピック選手団の事前合宿を誘致。パラスポーツの聖地を目指した交流を展開するとともに、観光や文化等の様々な分野の交流を図り、シティセールスにつなげていく。	・ 2018.4.27登録
	守山市・滋賀県	トルコ	・ スポーツを通じた共生社会の実現に向け障害者スポーツ（視覚障害者柔道および守山市に根付きつつあるゴールボール）を端緒とし、両競技関係者の人的ネットワークを生かしながらトルコの事前合宿誘致を進める。 ・ 市・県・大学等が連携し、幅広い競技の受入れや文化・教育面への取組の展開を図る。	・ 2016.12.9登録
	米原市・滋賀県	ニュージーランド	・ 2016年5月、同国に進出した市内の企業と国際交流関係構築に向け合意。 ・ 同市の伊吹地域は、1981年の国体時にホッケー会場となり、以来多くのオリンピック代表選手を輩出。「ホッケーのまち」として、米原市のスポーツを中心としたまちづくりを進めるため、同国への留学プログラム等の国際交流を開始するほか、ホッケー競技の事前合宿誘致を進める。	・ 2016.6.14登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
京都府	舞鶴市	ウズベキスタン	<ul style="list-style-type: none"> 第二次大戦後、同国に抑留された日本人は同国を代表する首都タシケントのナヴォイ劇場建設等に従事したが、その勤勉な仕事ぶりや、後の大地震で全く被害がなかったことなどから、同国には親日感情を持つ者が多い。 舞鶴市には、多くの引揚者を受け入れた舞鶴港や2015年ユネスコの世界記憶遺産を所蔵する「舞鶴引揚記念館」があるなど引き揚げを通じ同国と深い縁がある。同市は、2015年の全校高校総体レスリングが開催されたことを契機に、レスリングを通じた地域活性化を目指しており、この一環として同国との交流と事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
	亀岡市	オーストリア	<ul style="list-style-type: none"> オーストリア国クニッテルフェルト市と姉妹都市であることから、同国の空手競技の事前合宿誘致を進める。 	・2016.12.9登録
	京丹後市	韓国、オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> 久美浜湾では、毎年全国最大級のドラゴンカヌー大会を開催。ジオパークを利用した観光カヌーも活用し、スポーツツーリズムを推進し、交流人口の増加を図っている。 2004年から韓国ソサン市のソウリョン高校とカヌー交流を継続している縁を活かし、同国のカヌーチームの事前合宿を誘致。また、オーストラリアの事前合宿も誘致。 	・2016.1.26登録
	大山崎町	スイス	<ul style="list-style-type: none"> オリンピックの太田雄貴選手がジュニア時代に所属していたクラブがあるなどフェンシングが盛んな土地柄。地元フェンシング協会のつながりから、両国の地域クラブ間の交流を重ねることなどを通じ、スイスの同競技の事前合宿誘致を推進。 	・2016.6.14登録
	京丹波町	ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none"> 町技であるホッケー競技の定着に向け、全国大会等を実施。既にホストタウンに登録され、同じ競技を誘致することとしている滋賀県米原市と協力、連携して事前合宿誘致に取り組む。 	・2016.12.9登録
大阪府	大阪市	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> 国際親善女子車椅子バスケットボール大会に、毎年参加しているオーストラリアと交流を重ねるとともに同競技を中心に事前合宿を誘致。 	・2016.12.9登録
	池田市	ロシア	<ul style="list-style-type: none"> 池田市在住のミュンヘンオリンピック男子バレーボール金メダリストの大古誠司氏のつながりから、ロシアバレーボール協会に選手の事前合宿について、働きかけを実施し、2017年9月に合意がなされた。 	・2017.12.11登録
	貝塚市	台湾	<ul style="list-style-type: none"> 長年にわたり民間レベルでの交流を重ねてきた台湾を相手国として、当市に女子卓球部の練習拠点を置く日本生命とも連携して卓球を中心とした交流を実施する。 	・2018.8.31登録
	茨木市	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> 産学官が連携し、市内の大学と関わりのあるオーストラリアのホッケー代表チームの事前キャンプ実施や大会閉会後の凱旋訪問による市民との交流のほか、物産展や学校給食、小学校でのテレビ電話による交流等、オーストラリアとの文化、経済交流を深める。 	・2018.4.27登録
	泉佐野市	ウガンダ、モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> 市内のタオル業者が現地産のオーガニックコットンを製品化したことでグル市との交流を開始。2020年大会に代表選手と交流することについて大統領の承認を得た。これをきっかけに市民レベルでの交流継続を目指す。 職員の受入れやスポーツ・文化の交流を行っているモンゴル・トゥブ県との友好関係を活かし、マラソンを中心としたモンゴルの陸上の事前合宿誘致を進めている。 	・2016.12.9登録 ・2017年7.7モンゴル追加

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
大阪府	箕面市	ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none"> 1995年からニュージーランド・ハット市と国際協力都市提携を締結して教育交流などの交流を継続している。市内に柔道場を有する武道館があることから、柔道を通じた交流を行う。 	・2017.7.7登録
兵庫県	兵庫県・姫路市	フランス	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県では、4県と友好提携を締結し、姫路市では、姫路城とシャンティイ城が姉妹提携するなど、相互交流事業を継続。姫路市出身の柔道家「川石酒造之助」はフランス柔道の礎を築いたことから「フランス柔道の父」と呼ばれており、特に、柔道交流団の相互派遣等で、アヴェロン県との交流が盛ん。兵庫県では、全国で唯一、同国に事務所を設置しており、その機動力を生かし、柔道の事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
	兵庫県・三木市	フランス	<ul style="list-style-type: none"> フランス陸上競技連盟と事前合宿について合意。平成30年にフランスにて調印式を予定している。兵庫県では、フランス国内の4県と友好提携を締結しており、三木市では市民による草の根交流が行われてきた。これらの交流を生かし大会参加国・地域との相互交流を促進していく。 	・2018.4.27登録
	神戸市	英国、オーストラリア、クロアチア、カナダ、ネパール	<ul style="list-style-type: none"> 英国の体操チーム及びオーストラリアの水泳チームの事前合宿誘致に取り組み、併せて中学・高校生世代の交流事業を行う。また市内施設等の多言語化、観光案内サインの整備など受入れ環境の充実を図る。 クロアチアの柔道等を中心に、事前合宿を誘致。 地元の甲南大学や競技団体とも連携し、カナダの柔道を中心として事前合宿誘致を進めている。 2016年にネパールのパラ水泳選手の合宿を神戸市で受け入れた経緯があり、ネパールのパラ水泳連盟と事前合宿に合意。 	・2016.1.26登録 ・2016.12.9クロアチア追加 ・2017.7.7カナダ追加 ・2017.12.11ネパール追加
	明石市	韓国、台湾	<ul style="list-style-type: none"> 明石市在住のパラリンピアン・別所キミエ選手がキーパーソンとなり、韓国パラ卓球、女子車いす選手の競技終了後の明石市訪問を誘致。協定取り交しにつき、実務的調整を進めていくこととなった。 パラリンピックのホストタウンとして、「まち」と「心」のバリアフリーを推進していく。 台湾、韓国の車いす卓球選手との交流を契機に、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを加速させるとともに、「人にやさしいまちづくり」を全国に広めることで、共生社会の実現を目指す。 	・2017.12.11登録 ・2018.6.29台湾追加
	豊岡市	モンゴル	<ul style="list-style-type: none"> 本市但東町が絹織物産地であったことから、1980年代より「但東シルクロード計画」を推進。モンゴルの特定遊牧地域との草の根交流から幅広い交流を展開してきており、市内には国内唯一の「日本・モンゴル民族博物館」を開館。市内の元ボクシングチャンピオンのアドバイスも得ながら、事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
	加古川市	ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> 市とブラジルパラリンピック委員会、ブラジルパラバレーボール協会の3者でパートナーシップ協定を締結し、今後シッティングバレーボールを中心に大会後も含めた相互交流を目指す。 	・2017.7.7登録
	西脇市	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> 県と西オーストラリア州が、姉妹州であること、また元日本代表女子監督の西村氏が、市の出身であることから、事前合宿の誘致を進める。さらに、市の体育協会や国際交流協会を通じたボランティアの育成も行う。 	・2016.12.9登録
	香美町	フランス	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県で唯一「日本で最も美しい村連合」に認定され、フランス人の嗜好にあう芸術・食などの素材を有する。また、多くの大学や高校のアーチェリー合宿を受入れるなどノウハウを有していることから、フランスのアーチェリー競技の事前合宿誘致を進めている。 	・2017.7.7登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
奈良県	奈良市	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> 2016年、姉妹都市であるキャンベラを通して、リオ五輪女子サッカーアジア予選の事前合宿を実施。 女子サッカーを中心に、事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
	大和郡山市・奈良県	シンガポール、香港	<ul style="list-style-type: none"> 2014年アジア大会において、同国水泳大会チームが事前合宿を行った実績をもとに、水泳の事前合宿誘致を進める。 香港アマチュア水泳協会から、2018年の水泳選手の合宿について依頼を受けた経緯を踏まえ、オリンピックの事前合宿を調整中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.6.14登録 ・2017.12.11香港追加
	天理市	フランス、エジプト	<ul style="list-style-type: none"> 「フランス柔道育ての親」と言われ、同国最高勲章を受章した栗津正蔵師範の存在や、柔道強豪校として実績のある天理大学では、フランス国の柔道関係者が定期的に研修を実施。この実績をもとに、柔道の事前合宿誘致を進める。 県、地元の競技団体・大学と連携し、エジプト国柔道ナショナルチームの事前合宿受入を通して、市民を巻き込んだ地域の文化発信や子供達の国際感覚の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.6.14登録 ・2018.6.29エジプト追加
	橿原市・奈良県	カザフスタン	<ul style="list-style-type: none"> カザフスタンはユーラシアの交易路・シルクロードにおける中継地として、橿原市は東の終着点という歴史的な縁から、2016年よりカザフスタンの学生に日本文化体験をしてもらう取組を実施。 陸上及び女子バレーボールの事前合宿の誘致を目指す。 	・2017.12.11登録
和歌山県	和歌山県・和歌山市	オーストラリア、カナダ	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリア陸上代表チームと2020年の事前合宿について合意。また、同県田辺市に所在する陸上競技場がパラリンピックのN T Cに指定されたことから、パラ陸上の聖地として障がい者スポーツの振興を図る。 カナダ競泳代表チームについても、2018年のパンパシフィック水泳選手権及び2020年東京大会の事前合宿を行うことについて合意。合宿期間中に選手等による水泳教室などを実施。 	・2016.6.14登録
	和歌山県・那智勝浦町・串本町	トルコ	<ul style="list-style-type: none"> 1890年のトルコ軍艦「エルトゥールル号」遭難事故を契機に、トルコとは歴史的に深い絆で結ばれており、串本町と、メルシ市、ヤカセント町は姉妹都市提携を締結するなど、これまでも多数の国際交流を実施。2020年は、同事故から130年の節目であり、これらを縁とし、事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
鳥取県	鳥取県、鳥取市	ジャマイカ	<ul style="list-style-type: none"> 過去2回、世界陸上の事前合宿でジャマイカの陸上チームを受入れ。これを契機に同国のウェストモアランド県と姉妹都市提携が進むなど、スポーツをきっかけに両者の交流が活発化。 こうした縁を活かし、2020年大会においても事前合宿を誘致し、交流の更なる充実を図る。 パラリンピックに出場する競技の事前キャンプ実施決定を契機に、鳥取県と鳥取市が連携を深め、ジャマイカとの交流深化とともに、ユニバーサルデザイン化を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.1.26登録 ・2018.2.28鳥取市追加
島根県	松江市	アイルランド	<ul style="list-style-type: none"> 小泉八雲（ラファディオハーン）の縁で、これまで20年以上にわたり交流を実施。また、2007年大阪世界陸上、2008年北京大会で、陸上選手団の事前合宿を受け入れた実績より、陸上の事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
島根県	益田市	アイルランド	・ 当市では、地元のNPO法人が主体となり以前からサイクリングイベントやロード・レースの全国大会を開催しており、これらの既存の自転車コースを活用して、アイルランドの自転車競技ロード・レースの事前合宿誘致を目指す。事前合宿を契機とし大会終了後も様々な面においてアイルランドとの交流を進め、自転車によるまちづくりへつなげていく。	・2018.8.31登録
	奥出雲町	インド	・ 町技であるホッケーを活かし、同じくホッケー競技の盛んなインドとの交流を通じて、同競技の普及振興や地域振興を目指す。 ・ 特産品の仁多米を通じた食文化交流や雲州算盤とインド数学による教育交流を行う。	・2017.12.11登録
	邑南町	フィンランド	・ 町民の誰もが幸せに暮らせる、幸せと感じていただけるまちづくり、地域づくりの基底となり得るユニバーサルな意識を醸成し確実に後世に残していく上で、町の進める施策と近い考え方を持っている国、フィンランドとの交流を実現するため、ゴールボールの事前合宿誘致を進める。	・2016.6.14登録
岡山県	岡山市	ブルガリア	・ ブルガリア共和国のプロヴディフ市とは、40年以上国際友好交流都市として交流。これを縁として、バレーボール、バドミントン、柔道等の事前合宿誘致を進める。	・2016.12.9登録
	倉敷市	ニュージーランド	・ 1973年、我が国で初めてのニュージーランド（クライストチャーチ市）との姉妹都市となる。2011年のクライストチャーチでの大地震の際には独自の救援隊を派遣するなど絆を深めており、40年以上の充実した交流を継続。 ・ このような縁を活かし、同国のオリパラチームの事前合宿を誘致し、大会時にはニュージーランドの来日応援団と行動してチームを応援。美観地区など観光拠点の受入環境整備も行い、海外からの誘客に弾みをつける。	・2016.1.26登録
	真庭市	ドイツ	・ 2005年の国民体育大会で馬術競技会場となった蒜山ホースパークを有し、リオデジャネイロ五輪馬術代表の原田喜市氏が市在住であるつながりを活かし、馬術の強豪国であるドイツ選手を大会出場後に招聘。馬術を中心とした交流人口の拡大や、新エネルギー技術など産業面も含めた交流につなげる。	・2017.7.7登録
	美作市	ベトナム	・ 国内でも屈指の「美作ラグビー・サッカー場」を有しており、ここをホームとして女子サッカーチーム「岡山湯郷 Belle」が活躍している。また、ベトナムとは経済、文化、教育、スポーツの各分野で相互交流を行っていることから、ベトナム女子サッカー等の事前合宿の誘致や相互の交流を進める。	・2016.12.9登録
広島県	広島県ほか 県内22市町 (※)	メキシコ	・ 広島県、広島市、広島県商工会議所連合会、広島県体育協会で構成されるメキシコオリンピック誘致推進委員会を設置。県内市町、スポーツ関係団体等と広く連携し、サッカー、野球、陸上など26競技の事前合宿誘致を進め、平成29年5月に基本協定を締結し、大会直前の最終合宿、予選大会等に向けた事前合宿及び幅広い交流事業を広島県内で実施することを合意。今後、合宿等受入れに向けた準備を進めるとともに、スポーツ交流をはじめ、平和、文化など多彩な交流が、大会以降も広く県内で継続的に実施されるよう、取組を進める。	・2017.7.7登録
※広島市・呉市・竹原市・三原市・尾道市・福山市・府中市・三次市・庄原市・大竹市・東広島市・廿日市市・安芸高田市・江田島市・府中町・海田町・熊野町・坂町・安芸太田町・北広島町・世羅町・神石高原町				

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
広島県	広島市	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> 市内のホッケーチームとオーストラリアとのつながりを活かし、オーストラリア代表の事前合宿誘致を目指す。 両国の若者を中心とした平和・文化に関する交流を行い、相互の理解を深める。 	・2017.12.11登録
	北広島町	ドミニカ共和国	<ul style="list-style-type: none"> 北広島町において1997年からカープウエスタンリーグを開催している広島東洋カープが、ドミニカ共和国にカープアカデミーを設立し交流を行っていることを活かし、広島東洋カープと連携して陸上、柔道の事前合宿誘致を進めており、今後、覚書を締結予定。 	・2017.7.7登録
山口県	山口県・山口市・宇部市	スペイン	<ul style="list-style-type: none"> 県市それぞれが姉妹提携等を締結している。スペインから招聘している国際交流員を活用し、水泳、ゴルフ等の事前合宿を進める。2015年に開催された「世界スカウトジャンボリー」において大会史上初めて県内すべての市町において学校訪問等を実施した実績を生かし、県民との交流事業やボランティアの育成を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.6.14登録 ・2016.12.9宇部市追加
	下関市	トルコ	<ul style="list-style-type: none"> 2019年柔道世界選手権大会、2020年東京オリンピック競技大会における柔道の事前キャンプを本市で行い、併せて、市民と選手との交流事業等を実施することにより、東京オリンピック競技大会の機運醸成を図り、本市の地域活性化につなげる。 東京オリンピック競技大会終了後も、本市の姉妹友好都市であるイスタンブール市との文化交流と併せて、トルコ共和国とのスポーツ・観光・経済交流を深める。 	・2018.8.31登録
	萩市	英国	<ul style="list-style-type: none"> 1863年に日本人として初めて5人の若者「長州ファイブ」が密航留学するなど歴史的なつながりから、これまで、中学生を毎夏英国へ派遣する長州ファイブジュニア語学研修事業や様々な教育・文化交流事業を実施。また、市内在住のカヌー競技選手と交流の深い英国選手を招へいする。 	・2016.12.9登録
	防府市	セルビア	<ul style="list-style-type: none"> 同市は、高校で全国レベルの強豪校を複数有するなど、バレーボールが盛んな土地柄。同市出身の元駐セルビア大使の協力を得て、合宿誘致を進めた結果、セルビア男女バレーボールチームの事前合宿を行うことについて競技連盟と合意。 	・2016.6.14登録
	岩国市	米国	<ul style="list-style-type: none"> 1962年にアメリカのエベレット市と姉妹都市協定を締結し、以降、長年にわたる交流を継続。また、アメリカ海兵隊岩国航空基地が所在していることを縁として、アメリカとのフェンシング、ソフトボールを中心とした交流につなげる。 	・2017.7.7登録
	長門市	トンガ	<ul style="list-style-type: none"> 水産インフラ輸出の具体化に向けた研究及びトンガからの高校生ラグビー留学生の受け入れを進めながら、ラグビーの事前合宿誘致にも取り組む。 	・2016.12.9登録
徳島県	徳島県	カンボジア	<ul style="list-style-type: none"> 2013年より、徳島商業高校はJICA草の根無償資金協力事業を活用し、カンボジアの学校と同国の特産物を利用したお土産共同開発プロジェクトを実施。 この縁を活かし、カンボジアの水泳チームとの交流を目指す。 	・2017.12.11登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
徳島県	徳島県・ 那賀町	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> 第1次大戦時、現在の鳴門市にあり、ドイツ兵捕虜に人道的な対応をした「板東俘虜収容所」における地元住民との交流が友好関係に発展。 2007年からニーダーザクセン州との間で、友好協力協定を締結し、スポーツ、経済、文化など多くの分野で交流を継続。こうした縁を活かし、事前合宿等の誘致を推進。「阿波おどり」「阿波藍」「お遍路」などの地元文化をアピールするとともに、2021年の関西ワールドマスタースゲームズも見据え、取り組みをレガシー化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.1.26登録 ・2016.12.9那賀町追加
香川県	香川県・ 丸亀市・ 坂出市	ブラジル、デンマーク、エストニア、フィンランド、ノルウェー、カナダ、ハンガリー	<ul style="list-style-type: none"> 過去の事前合宿受入実績や県人会との100年超のつながり、また全国有数の陸上競技場・カヌー競技場等をアピールすることで、事前合宿や相互交流の促進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.6.14登録 ・2016.12.9丸亀市、坂出市、カナダ追加 ・2018.6.29ハンガリー追加
	高松市	台湾	<ul style="list-style-type: none"> 従来より盛んであった観光分野における交流を背景に、台湾基隆市と交流協定の締結や日台観光サミット会議の開催地となるなど、一層の交流が進んできた。 台湾パラリンピック選手との大会後交流等をを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2017.12.11登録
	東かがわ市	香港	<ul style="list-style-type: none"> 2015年から香港ソフトボール代表チームと交流大会の開催など、競技以外にも幅広い交流を実施。東アジアマスタース2018の地元開催を弾みとして、2020年東京大会の事前合宿を受入れ更なる交流の深化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018.4.27登録
愛媛県	愛媛県・ 松山市	台湾	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県は国際交流促進覚書、松山市は友好交流協定を、それぞれ台北市と締結しており、活発な交流を進めている中で、台湾の野球等の事前合宿誘致を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.12.9登録
	愛媛県・ 松山市・砥部町	マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> マレーシアバドミントン協会は、これまで愛媛県協会とジュニア選手の交流等を行ってきた経緯から、2018年4月に愛媛県を合宿地として決定。7月に基本合意書に調印予定。 2020年に向け、シニア・ジュニアによる合宿を行うとともに、スポーツ・文化交流等、多様な交流の拡大を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018.6.29登録
	新居浜市・ 愛媛県	サウジアラビア	<ul style="list-style-type: none"> 日本人初のオリンピック選手やオリンピックメダリストを輩出してきた実績に加え、2017年えひめ国体開催により、市全体でウエイトリフティングを応援する機運が高まっている。 2019年完成予定の新たな練習場を活用して、サウジアラビアウエイトリフティングチームの事前合宿を受け入れ、地域住民を巻き込んだ交流の深化を図る。 新居浜市のホストタウンの取組について、愛媛県も一体となって推進していくことで、2020年東京大会の全県的な機運の醸成や効果の波及に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018.6.29登録 ・2018.8.31愛媛県追加

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
愛媛県	西条市・愛媛県	オーストリア	<ul style="list-style-type: none"> 2017年えひめ国体において山岳競技を実施した実績などから、市内クライミング施設「石鎚クライミングパークSAIJO」を活用しクライミング強豪国であるオーストリアの事前合宿誘致を進めている。また、盆栽をきっかけに交流が芽吹き始めているセーバーデン市との友好関係を深めていく。 西条市のホストタウンの取組について、愛媛県も一体となって推進していくことで、2020年東京大会の全県的な機運の醸成や効果の波及に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2018.4.27登録 2018.8.31愛媛県追加
高知県	高知県	キルギス	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年1月に開設された在高知キルギス共和国名誉領事館とのつながりを生かし、同国のレスリング及びウエイトリフティング競技の事前合宿を誘致するとともに、スポーツ交流や文化的交流を進めていく。 	2018.4.27登録
	高知県・高知市	トンガ	<ul style="list-style-type: none"> ラグビーワールドカップ2019の大会前にチームが任意で行うキャンプについて事前協定を締結した。このつながりを活かし2020年東京大会の事前合宿についても誘致を進めている。 	2017.7.7登録
	高知県・南国市	シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> 高知県シンガポール事務所等の仲介のもと、2016年10月にシンガポールスポーツスクールとのスポーツ交流協定書を締結。バドミントンなどの事前合宿誘致を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2016.6.14登録 2017.7.7南国市追加
	高知県・須崎市	オーストラリア、チェコ	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリアのソフトボール及びパラリンピック競技の事前合宿誘致を進めている。 良好な自然条件に恵まれた須崎市浦ノ内湾のコースを活用しチェコ共和国のカヌー等を中心とした事前合宿誘致を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2016.12.9登録 2017.7.7須崎市、チェコ追加
	高知県・宿毛市	オランダ	<ul style="list-style-type: none"> 2009年、オランダのウェストラント市と友好園芸農業協定を締結。このつながりなどを生かしスポーツや文化などにおける県民との交流を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 2016.6.14登録 2017.7.7宿毛市追加
	土佐町・本山町・須崎市・高知県	ハンガリー	<ul style="list-style-type: none"> 土佐町・本山町の早明浦ダム湖畔と須崎市の浦ノ内湾を活用したカヌー練習が可能なメリットを生かし、ハンガリーのカヌーチームの事前合宿誘致を目指す。 高知県嶺北高校カヌー部の外部指導員であるハンガリー金メダリストによる高校生の競技力向上と、交流人口拡大を目的としたカヌー教室の開催等による地域の活性化を目指す。 	2017.12.11登録
福岡県	福岡県・福岡市	スウェーデン、ノルウェー	<ul style="list-style-type: none"> 2014年10月、スウェーデンの事前合宿の受入れを決定。これを契機に、スウェーデンに関する教育やスウェーデン企業との交流を進める。 ノルウェーに対し、既に合宿実施を決定しているスウェーデンが福岡を推薦。ノルウェーオリンピック委員会と事前合宿について基本合意書を調印。 	<ul style="list-style-type: none"> 2016.1.26登録 2016.6.14福岡市追加 2017.7.7ノルウェー追加
	福岡県・久留米市	ケニア	<ul style="list-style-type: none"> 2017年、事前キャンプ実施にかかる基本合意を締結。大会前からケニアに親しみを感じるようなイベント等の取組を進め、大会時にはパブリックビューイング等により応援する。 	2017.12.11登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
福岡県	福岡県・柳川市・みやま市・みやこ町・築上町	米領サモア、パラオ、クック諸島、パプアニューギニア、ミクロネシア、サモア、フィジー、ソロモン諸島、グアム、トンガ、キリバス、ツバル、マーシャル諸島、バヌアツ、ナウル	<ul style="list-style-type: none"> 国や都市の規模に関わらず実施できる国際交流を実現し、ホストタウン登録を契機として、相手国と4市町が、異文化理解教育の推進、青少年の健全育成、並びに地域の活性化を図る。 	・2018.4.27登録
	北九州市	タイ	<ul style="list-style-type: none"> これまでも環境分野での国際協力に加えて、フィルムコミッションを通じたタイとの交流を活発に実施。新たにスポーツ分野での交流も開始し、事前合宿を誘致。 	・2016.1.26登録
	飯塚市	南アフリカ	<ul style="list-style-type: none"> 長年にわたり「飯塚国際車いすテニス大会」を開催し、多くの海外選手と交流を継続。大会の運営を支えてきた市民ボランティアの活動などこれまでの蓄積を活かし、交流の深化を図る。 日本のプロ車いすテニスプレイヤーの助言も得つつ、強豪国の一つである南アフリカの事前合宿の誘致に取り組む。 	2016.1.26登録
	田川市	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> ドイツとは炭鉱の産業遺産があるという共通点。これまでスポーツ少年団の受入を行った経緯もあることから、ウィルチエアーラグビーなどの事前キャンプ誘致などドイツとの交流を進める。 	・2016.6.14登録
	宗像市	ブルガリア、ロシア	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、市内で行われている新体操の大会には、ブルガリアの有力クラブチームが出場。その際、チームの選手が市内の小学校を訪問し交流を行っており、2022年度までに全小学校で実施する予定。こうした縁をきっかけに、新体操などの事前合宿誘致を進める。 クラブチームを中心としてラグビーが盛んな土地柄であり、同市で毎年開催されているラグビーユース交流大会にロシアの高校生チームが参加。この交流を核に7人制女子ラグビーの事前合宿誘致を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.6.14登録 ・2017.12.11ロシア追加
佐賀県	佐賀県・佐賀市・嬉野市	オランダ、フィジー、ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none"> 有田焼のものづくり技術とオランダのデザインカのコラボレーションなど産業面で交流のあるオランダの事前合宿を誘致。大会を契機に、相手国における有田焼の認知度を深め、文化・技術分野での交流も更に展開。 2015年世界陸上においてニュージーランドの事前合宿を受け入れた実績や県内に在住するフィジー出身のラグビー選手のつながりを通じた同国ラグビーチームとのスポーツ交流実績を生かし、それぞれの国からの事前合宿誘致を進めると共に、大会を契機に文化・人材分野での交流も展開。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.1.26登録 ・2016.6.14フィジー、ニュージーランド追加 ・2016.12.9嬉野市追加 ・2017.7.7佐賀市追加

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
佐賀県	佐賀県	タイ	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年8月にアーチェリーをテーマとしたタイのスポーツドラマのロケ撮影が行われ、これが契機となり同国のアーチェリーチームのキャンプ実施に係る覚書を締結。タイの映画・ドラマのロケ誘致によって、同国における佐賀県の認知度が向上しており、事前キャンプをきっかけにさらなる交流の深化を図る。 	・2018.2.28登録
長崎県	長崎県・長崎市・佐世保市・島原市・諫早市・大村市・壱岐市・雲仙市・南島原市・川棚町	ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> 長崎県とベトナムとは、17世紀から朱印船貿易による交流など、歴史的つながりが存在。 2020年大会の事前合宿に先立ち、2017年から交流を兼ねたトレーニングを実施する予定。2016年に設立したスポーツコミッションと連携し、国内外から注目されるスポーツキャンプ等の拠点づくりに取り組む。 2014年の長崎国体に携わったボランティアが、県内で開催される他のスポーツイベントにも継続的に関わっており、これらのノウハウをホストタウンの交流にも活用。 	・2016.6.14登録
	長崎県、長崎市、大村市	ポルトガル	<ul style="list-style-type: none"> 南蛮貿易や天正遣欧少年使節団など大変古くからの歴史的繋がりをもち、県内にはポルトガル名誉領事館が開設されるなど、ポルトガルとは幅広い分野で交流の歴史がある。 競泳競技の事前合宿を行うことで更なる相互理解を進めるとともに、交流人口の拡大と地域の活性化に取り組む。 	・2018.6.29登録
	長崎県・島原市	スペイン	<ul style="list-style-type: none"> 2007年の「日本・スペインシンポジウム」長崎開催をはじめ、古来からの歴史的な縁に基づく交流関係を継続しているほか、島原市関係者がレスリングの元オリンピック選手であるつながりを活かし、レスリングの事前合宿誘致を進めている。 	・2017.7.7登録
	長崎県・諫早市	フィリピン	<ul style="list-style-type: none"> 本県に本社を置く民間事業者がフィリピンの発展のために、同国への小学校建設や机・椅子等の寄贈による教育支援を実施するなど関係が強化されており、このような縁から陸上競技の事前合宿誘致を進めている。 	・2017.12.11登録
熊本県	熊本県	インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> バドミントン伝統国であるインドネシアと、これまで選手・指導者の交流や大会の開催などを通じ交流を継続。 同国の事前合宿の受入れを通じ、食事面などムスリムの受入体制も充実化。 	・2016.1.26登録
大分県	大分県	ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none"> ロトルア市と別府市の姉妹友好・国際協力都市の締結の効果を最大化するため、交流実績や人脈等を活用し、陸上競技などの事前合宿誘致を進める。 	・2016.6.14登録
	大分県・大分市	ポルトガル、ロシア、イタリア、米国、ハンガリー、ルーマニア、ウクライナ	<ul style="list-style-type: none"> 古くから交流の歴史があり、姉妹都市交流も行われているポルトガルについては、2015年世界陸上の事前合宿を受け入れた実績もあり、陸上の事前合宿誘致を進める。 2016年3月に韓国で開催されたフェンシングワールドカップグランプリ大会の事前合宿として8か国100名程度の選手団を受け入れた実績や、市出身のフェンシング関係者の人脈を生かし、ロシア、イタリア、米国、ハンガリー、ルーマニアのフェンシングチームの事前合宿誘致を進める。 複数国の選手団誘致を推進。既に登録された6か国に加え、ウクライナのフェンシングチームの事前合宿誘致を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.6.14登録 ・2016.12.9ハンガリー、ルーマニア追加 ・2017.7.7ウクライナ追加

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
大分県	大分県・大分市・別府市	フィジー	・別府市出身者が名誉領事に就任したことをきっかけに、貿易、投資、観光分野において交流が活発化しており、同国と高校生を中心としたスポーツ・文化交流事業を推進するための覚書を締結。	・2016.12.9登録
	大分県・中津市	マレーシア	・マレーシアのNational sports Instituteを通じ、バドミントンチームの事前合宿を誘致を働きかける。 ・マレーシアで事業を展開する企業のつながりを活用。	・2016.12.9登録
	大分市	スイス	・40年近くの歴史がある世界最高レベルの大会「大分国際車いすマラソン大会」の開催都市という実績を活かし、車いすマラソンの強豪国であるスイス連邦を交流相手国とし、多くの人が楽しむことができる音楽をテーマとした交流等を行うとともに、共生社会の実現を目指す。	・2018.4.27登録
	別府市	ニュージーランド	・同じ温泉地という繋がりがある姉妹都市（ロトルア市）の協力を得て、2019年ラグビーワールドカップ及び2020年大会におけるニュージーランドのラグビーチームの事前合宿を誘致。	・2016.1.26登録
宮崎県	宮崎県・宮崎市・延岡市・小林市	ドイツ	・2002年FIFAワールドカップサッカー大会でドイツチームの事前合宿を受け入れた実績を踏まえ、事前合宿を誘致。	・2016.1.26登録 ・2016.6.14小林市追加
	宮崎県・宮崎市	英国、カナダ	・英国ラグビーのヘッドコーチ、エディ・ジョーンズ氏が、日本代表ヘッドコーチ時代に宮崎市を合宿拠点としたことをきっかけに、事前合宿誘致を進める。 ・事前合宿やトライアスロンワールドカップでカナダの方々が来県する機会を利用し、小・中学校や特別支援学校の生徒、障がい者、地域住民との交流を実施する。	・2016.12.9登録 ・2018.8.31カナダ追加
	宮崎県・宮崎市・日南市・西都市	イタリア	・宮崎県西都市は16世紀末の天正遣欧少年使節の主席正使であった伊東マンショの生誕の地であることから、県や西都市ではこれまでイタリアと交流事業を実施。 ・この交流を基盤に、事前合宿や国際大会参加アスリート等との交流事業を検討。	・2016.6.14登録 ・2016.12.9日南市追加
	都城市	モンゴル	・1999年、ウランバートル市と友好交流都市を提携し、青少年交流を進めてきた。同国からの国際交流員（CIR）を窓口し、レスリングを通じた選手、指導者、子どもたちの交流を進める。	・2016.12.9登録
	日向市	米国	・1年を通してサーフィンが楽しめる海岸を有する同市では、以前から米国の小学生との相互交流が行われており、また2017年に同市で開催されたISA世界ジュニアサーフィン選手権を契機として、今後米国サーフィンチームの事前合宿誘致を進める。	・2017.12.11登録
鹿児島県	鹿屋市	スロベニア、タイ	・スロベニア女子柔道チーム監督と以前から交流のある鹿屋体育大学と連携し、同大学を活用して事前合宿誘致を目指す。 ・鹿屋体育大学と鹿屋市民のホームステイ受入が紡いだ縁から、女子バレーボールチームの事前合宿誘致を進める。さらに、同年開催の鹿児島国体へ弾みとなる交流及び将来も継続する交流を、市民・民間団体・行政が連携し、スポーツ・文化・観光・地域経済の各分野で取組む。	・2017.12.11登録 ・2018.4.27タイ追加
	大崎町	台湾	・直行便が多く運行されるなど、経済交流はもとより、文化・人材面で交流の機会が創出されていることをきっかけとして、台湾陸上競技の長距離チームを中心に事前合宿誘致を進めている。	・2017.12.11登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
鹿児島県	三島村	ギニア	<ul style="list-style-type: none"> 1994年に始まったジャンベを通じたギニア共和国との交流により、ジャンベは三島村の代表的な音楽となっている。同国の子どもたちを招き、三島村の子どもたちとの交流を推進するとともに、2020年東京大会ではギニア共和国の応援団になり、三島村で大会終了後に選手等招き交流の深化を図る。 	・2018.6.29登録
沖縄県	沖縄市	ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none"> ニュージーランド空手代表選手団に沖縄市での居住経験者や市内空手道場における合宿経験者がいたことから、空手の事前合宿の誘致を進め、事前合宿に関する協定書を締結。空手発祥の地として、今後、ニュージーランドと交流を深めていく。 	・2017.7.7登録